

環境経営レポート



対象期間 令和5年度（令和5年7月～令和6年6月）

発行日 令和6年9月20日（第12版）



三浦国土建設株式会社



エコアクション21[®]
認証番号0009849

目 次

1	取組の対象組織・活動	P. 2
2	環境経営方針	P. 3
3	組織図	P. 4
4	環境経営目標（年間）	P. 5
5	環境経営活動計画・SDG s との関連	P. 6
6	環境経営目標・実績・評価	P. 7
7	環境経営目標の達成状況・是正策（次年度の主な取組）	P. 8
8	二酸化炭素排出量の削減 グラフ一覧	P. 9
9	活動状況	P. 10
10	環境関連法規等の順守状況の確認	P. 11
11	代表者による見直しと評価	P. 11



大分県独自の『おおいたグリーン事業者』の認証を受けました。引き続き、CO₂削減に取り組んでいきます。



1. 取組の対象組織・活動

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

三浦国土建設株式会社
代表取締役社長 三浦 宏之

(2) 所在地

本社 大分県大分市大字津守60番地の1
資機材置場 大分県大分市大字下郡字外園565番地

(3) 環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 三浦 智之 TEL 097-569-4641
担当者 常務取締役 窪田 渉 FAX 097-569-4349
総務管理部長 湯浅 優子

(4) 事業内容

「建設業許可」

許可番号 大分県知事 許可(特-4) 第1322号
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

「産業廃棄物収集運搬業許可」

許可番号 大分県知事 第04402010454号
産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず
ガラスくず等、がれき類 以上8品目
許可の年月日 令和5年10月28日
許可の有効期限 令和10年10月27日

収集運搬実績	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず
	603.1 t	129.23 t	2.99 t	17.0 t

運搬車両	2tダンプ	3tダンプ	4tダンプ
	1台	2台	3台

(5) 事業の規模 設立年月日 昭和47年1月27日

資本金 3,000万円

項目	単位	令和5年度 R5.7~R6.6	令和4年度 R4.7~R5.6	令和3年度 R3.7~R4.6
売上高	百万円	1,472	1,263	1,139
工事件数	件	81	110	156
従業員数	人	37	30	30
事務所床面積	m ²	782	782	782
倉庫床面積	m ²	91	91	91
資機材置場床面積	m ²	6,637	6,637	6,637

(6) 事業年度 期首 7月 ~ 期末 6月

(7) その他

「ISO9001:2015」

登録番号 QMS41558
範囲 土木・舗装工事の施工

「ISO45001:2018」

登録番号 HSM40663
範囲 土木・舗装工事の施工

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 三浦国土建設株式会社
本社事務所
資機材置場

活動 全社、土木工事、舗装工事を対象としています

2. 環境経営方針

環境経営理念

私たちは、土木建設業としての事業活動において、環境問題に対して継続的改善が重要であると認識し、環境負荷の低減と、地域の環境保全に対する活動を自主的・積極的に取り組んでいきます。

環境保全への行動指針

1. 次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - 1.電力の使用量の削減
 - 2.ガソリンの使用量の削減
 - 3.軽油使用量の削減
 - 4.灯油使用量の削減

- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
 - 1.一般廃棄物量の削減
 - 2.一般廃棄物の分別排出による再資源化の推進
 - 3.産業廃棄物（最終処分廃棄物）量の削減
 - 4.産業廃棄物（特定建設資材等）の再資源化の推進

- ③ 排出量の削減（水資源の保全）
 - 1.水道水使用量の削減

- ④ 社会貢献
 - 1.地域の環境活動への積極的な参加
 - 2.請負現場周辺の環境活動への積極的な参加

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

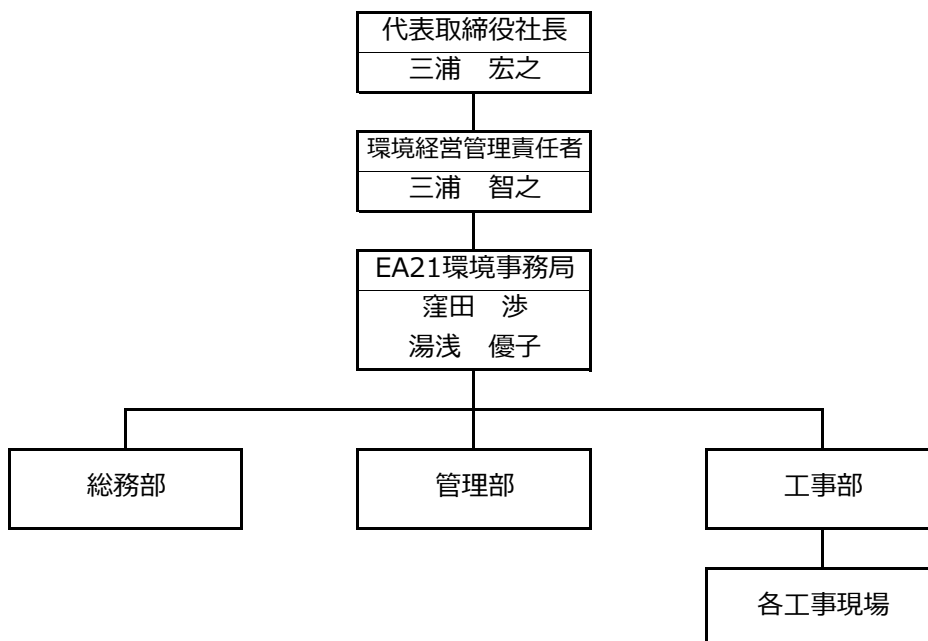
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

令和2年12月21日 改定



大分県大分市大字津守60番地の1
三浦国土建設株式会社
代表取締役社長 三浦宏之

3. 組織図



役割・責任・権限

代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境経営管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境教育訓練計画/実施記録表の承認 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 環境教育訓練記録の確認 各部門の特定された緊急事態への対応のための手順書の承認 各部門の緊急事態の試行・訓練の確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 問題点の発見・是正、予防処置の確認 代表者へ全体の評価と見直しの提案 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 環境経営活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施 従業員に対する教育訓練の実施 環境関連外部との窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
各部門	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境経営への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標（年間）

年間環境経営目標


環境経営目標			目標	単位	基準年度 令和4年度 (R4.7~R5.6) 実績	令和6年度 (R6.7~R7.6) 目標	令和7年度 (R7.7~R8.6) 目標
二酸化炭素排出量の削減 (事務所エネルギー使用量の合計)			基準年度対比 -1%	kg-CO ₂	32,915	32,257	31,927
エ ネ ル ギ ー 使 用 量	二酸化炭素排出量の削減 電力の使用量の削減(kg-CO ₂)	事務所	基準年度対比 -1%	kg-CO ₂	13,989	13,709 (△2%)	13,569 (△3%)
		現場	活動目標の実践	〔活動目標〕 ソーラー式保安設備の使用によるCO2削減 工期内検査の遵守によるCO2削減			
	二酸化炭素排出量の削減 ガソリンの使用量の削減(kg-CO ₂)	事務所	基準年度対比 -1%	kg-CO ₂	17,960	17,601 (△2%)	17,421 (△3%)
		現場	活動目標の実践	〔活動目標〕 ソーラー式保安設備の使用によるCO2削減 エコドライブ運動によるCO2削減			
	二酸化炭素排出量の削減 軽油の使用量の削減(kg-CO ₂) ※現場のみ		活動目標の実践		〔活動目標〕 排出ガス対策型建設機械の使用によるCO2削減		
二酸化炭素排出量の削減 灯油の使用量の削減(kg-CO ₂) ※事務所と現場(事務所)の合計		基準年度対比 -1%	kg-CO ₂	966	947 (△2%)	937 (△3%)	
廃 棄 物 排 出 量	一般廃棄物の最終処分量 (埋立, 焼却) の削減 (kg)		基準年度対比 -1%	kg	239	234 (△2%)	232 (△3%)
	一般廃棄物の分別排出による再資源化の推進 (コピ-用紙, 廃プラスチック, 空缶, ペットボトル)		一般廃棄物 総量の70%	%	79.1%	70%以上	70%以上
	産業廃棄物の最終処分量 (埋立, 焼却) の削減 (t)		基準年度対比 -1%	t	27.20	26.66 (△2%)	26.38 (△3%)
	産業廃棄物(特定建設資材等)の再資源化の推進 (コンクリ-ト, アスファルト, 木くず, 鋳滓)		再資源化率 100%	%	100%	100%	100%
排水量の削減 水道水使用量の削減 (m ³)		事務所	年間210m ³ 以内	m ³	196	210	210
		現場	活動目標の実践	〔活動目標〕 苦情ゼロ(散水による環境(防塵)対策の徹底)			
社 会 貢 献	地域の清掃活動の実施		月1回以上	回	12	12	12
	請負現場周辺の清掃活動の実施		年3件以上	回	8	3	3

※電気の二酸化炭素排出量係数は、令和3年度調整後排出係数の0.382kg-CO₂/kWhを使用しています。

※年度の期間は7月~6月とする

※現場での目標は、数値目標では仕事量の増減により評価が左右される為、平成28年度より活動目標を実施できたか否かで評価する。

5. 環境経営活動計画・SDGsとの関連

目標	取組項目		目標達成への活動項目	
			主な短期計画	中期計画
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	事務所	不要照明の消灯 設備の空運転防止	空調の適温化
		現場	ソーラー式保安設備の情報収集と利用 工期内検査を遵守することで無駄な電力消費を省く	
	ガソリン使用量	事務所	アイドリングストップ 冷暖房の控え目使用	燃費のよい車の購入（更新時）
		現場	ソーラー式保安設備の情報収集と利用	
	軽油使用量	現場のみ	排出ガス対策型建設機械を使用する	燃費のよい重機の購入（更新時）
	灯油使用量		ウォームピズ運動	暖房の適温化
SDGs		  		
リサイクル物の削減・進	一般廃棄物（埋立・焼却物）		ミスコピーの防止 分別収集の徹底	帳票見直しによる印刷物の削減 マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進
	一般廃棄物の再資源化の推進		分別収集の徹底 裏紙使用 古紙回収ボックスの利用	シュレッダーの活用
	産業廃棄物（最終処分）		工事現場での分別の徹底 資機材置場設置の分別コンテナへの分別徹底	リサイクル可能な処理業者への委託
	産業廃棄物（特定建設資材等）の再資源化の推進		工事現場での分別の徹底 資機材置場設置の分別コンテナへの分別徹底	リサイクル可能な処理業者への委託
SDGs		     		
排水量削減	水道水使用量	事務所	節水呼びかけ	
		現場	散水の適正実施、地域への配慮・トラブルを防止	
SDGs		 		
社会貢献	地域の清掃活動の実施		会社周辺地域の清掃活動を月1回以上実施する	
	請負現場周辺の清掃活動の実施		現場周辺地域の清掃活動を年3回以上実施する	
SDGs		   		

6. 環境経営目標・実績・評価

令和5年度（令和5年7月～令和6年6月）

環境経営目標	単位	目標 (基準年度対比)	基準年度 令和4年度	令和5年度						
				目標	実績	基準年度 対比	目標対比	評価		
二酸化炭素排出量の削減 (エネルギー使用量の合計)	k g-CO ₂	-1%	32,915	32,585	31,918	97.0%	98.0%	○		
エネルギー 使用量	電力の使用量	事務所	k g-CO ₂	-1%	13,989	13,849	13,996	100.1%	101.1%	×
		現場	-	活動目標の実践 〔活動目標〕	ソーラー式保安設備の使用によるCO2削減 工期内検査の遵守によるCO2削減				○	
	ガソリンの使用量	事務所	k g-CO ₂	-1%	17,960	17,780	17,922	99.8%	100.8%	×
		現場	-	活動目標の実践 〔活動目標〕	ソーラー式保安設備の使用によるCO2削減 工期内検査の遵守によるCO2削減				○	
	軽油の使用量	k g-CO ₂	-1%	〔活動目標〕	排出ガス対策型建設機械の使用による CO2削減				○	
灯油の使用量	k g-CO ₂	-1%	966	956	0	0%	0%	○		
廃棄物 排出量	一般廃棄物の最終処分量 (埋立, 焼却)	kg	-1%	239	237	258	107.9%	108.9%	×	
	一般廃棄物の分別排出による 再資源化の推進	%	一般廃棄物 総量の70%	79.1%	70%以上	78.5%	—	—	○	
	産業廃棄物の最終処分量 (埋立, 焼却)	t	-1%	27.20	26.93	39.31	144.5%	146.0%	×	
	産業廃棄物（特定建設資材等）の 再資源化の推進	%	再資源化率 100%	100%	100%	100%	—	—	○	
排水 量	水道水使用量	事務所	m ³	年間210m ³ 以内	196	210	187	95.4%	89.0%	○
		現場	-	活動目標の実践 〔活動目標〕	苦情ゼロ (散水による環境(防塵)対策の徹底)				○	
社会 貢献	地域の清掃活動の実施	回	月1回以上	12	12	12	100%	100%	○	
	請負現場周辺の清掃活動の実施	回	年3件以上	8	3	8	100%	100%	○	

※電気の二酸化炭素排出量係数は、令和3年度調整後排出係数の0.382kg-CO₂/kWhを使用しています。

※事務所で使用する都市ガスは、使用量が少量（全体の0.1%程度）の為、環境経営目標の削減対象にしていません。

※建設現場で使用するLPGは、原材料であり、環境経営目標の削減対象にしていません。

※年度の期間は7月～6月としています。

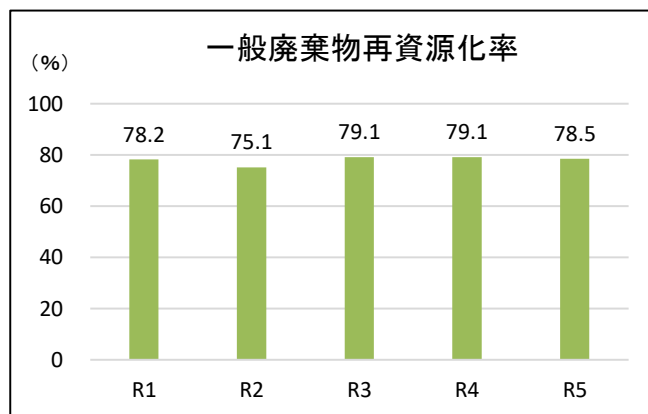
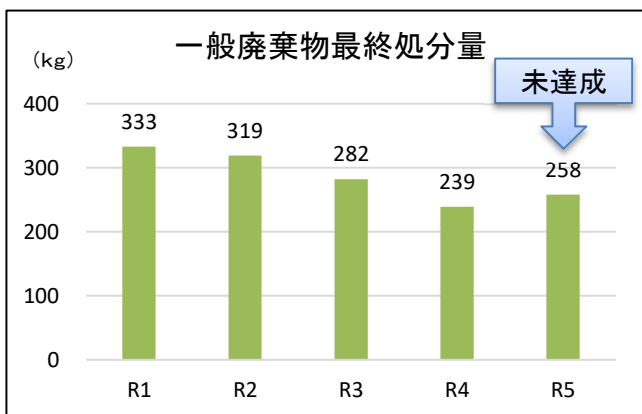
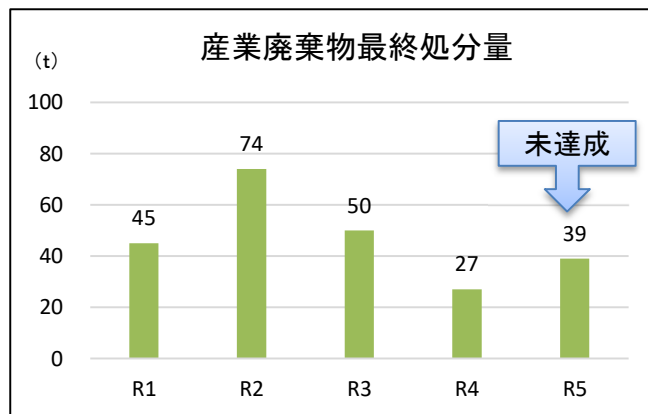
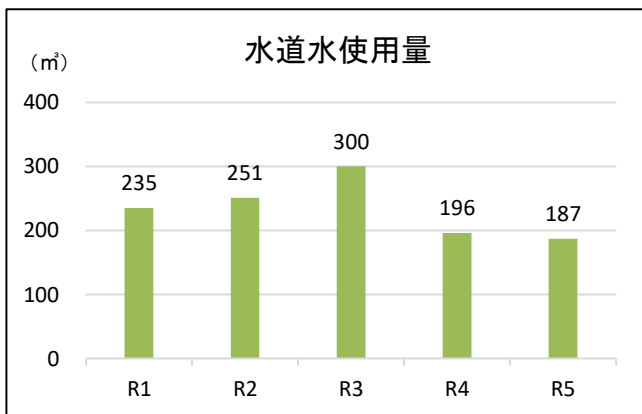
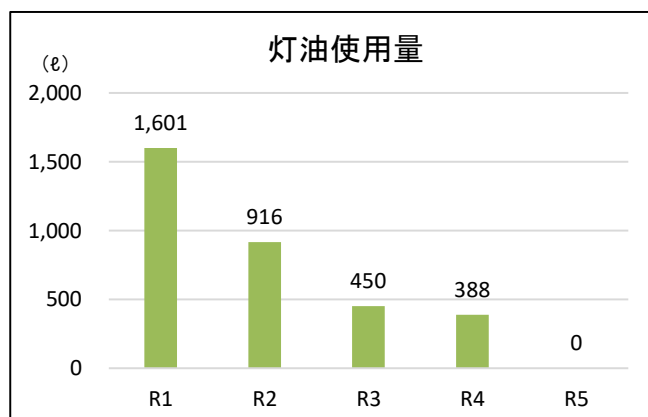
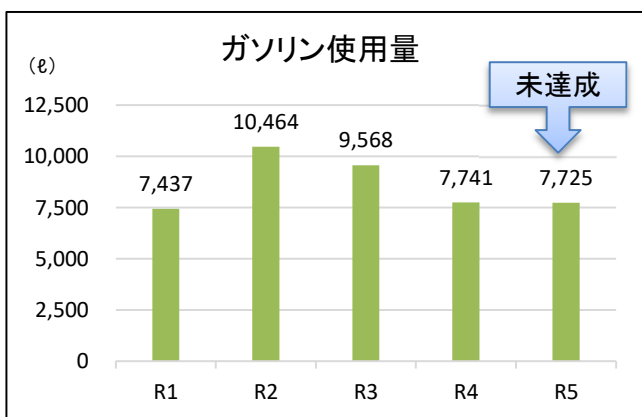
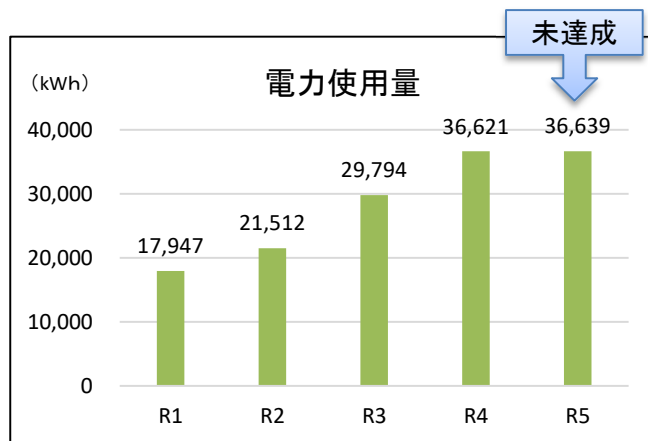
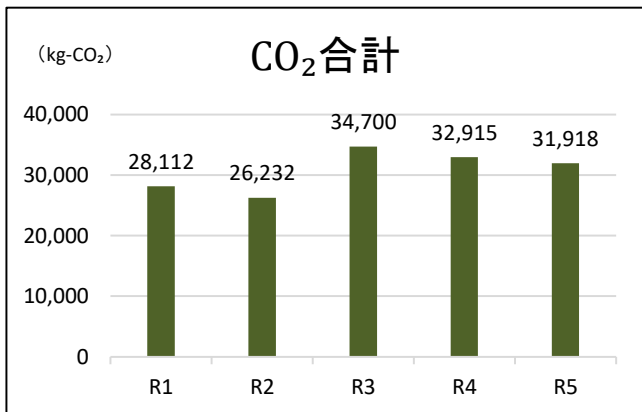
※目標対比は、目標/実績としています。

建設現場を含めた全体の二酸化炭素排出量の実績は、211,461kg-CO₂です。



7. 環境経営目標の達成状況・是正策（次年度の主な取組）

		達成状況	是正策と次年度の主な取組	
二酸化炭素排出量の削減 (エネルギー使用量の合計)		○	是正策	全体の二酸化炭素排出量は目標対比で98%であり、目標達成出来ている。 しかし事務所の電力・ガソリン使用量はわずかに目標達成とならず、また一般廃棄物・産業廃棄物の最終処分量も増加した。受注した工事内容により削減できない場合もあるため、確実な分別処分等ができるようにしていく。
			次年度の主な取組	引き続き、活動内容の再確認・再検討を行いながら、環境に配慮した活動を継続していく。 月1回は具体的は取組方法を社員へ発信し、節約への呼びかけを継続していく。
エネルギー 使用量	電力の使用量	事務所	×	是正策 わずかの増加であったため、不要照明の消灯等の呼びかけを続けていく。
				次年度の主な取組 冬期の電気ヒーターの消し忘れがないように、呼びかけとチェックを行う。
		現場	○	是正策 ソーラー式保安設備の使用は出来ている。 工期遅延の現場はなかった。
				次年度の主な取組 ソーラー式保安設備の継続利用に努める。
	ガソリンの使用量	事務所	×	是正策 わずかの増加であった。夏場のアイドリングをしないように注意する。
				次年度の主な取組 タイヤの空気圧が低い車があるので、適時確認するように朝礼時に呼び掛けを行う。
		現場	○	是正策 電力使用の削減と同様にソーラー式保安設備の使用を確認した。
				次年度の主な取組 タイヤの空気圧が低い車があるので、適時確認するように朝礼時に呼び掛けを行う。
	軽油の使用量		○	是正策 排ガス対策機械の使用は徹底できた。
				次年度の主な取組 継続していく。
灯油の使用量		○	是正策 達成できた。適温化を意識できている。	
			次年度の主な取組 最近ではストーブよりもヒーターの使用が増えているが、消し忘れしやすいため注意する。	
廃棄物 排出量	一般廃棄物の最終処分量 (埋立, 焼却)		×	是正策 分別の徹底をゴミ箱への張り紙等で注意喚起する。
				次年度の主な取組 マイコップ・マイ水筒の推進を呼び掛ける。
	一般廃棄物の分別排出による 再資源化の推進		○	是正策 達成できている。
				次年度の主な取組 再資源化すべき建設資材は確実に処理できているので、継続していく。
産業廃棄物の最終処分量 (埋立, 焼却)		×	是正策 達成できなかった。仕事内容によるものである為、対比はできにくい。	
			次年度の主な取組 出来る限りの分別処分やマニフェストの適正処理を続けていく。	
産業廃棄物（特定建設資材等） の再資源化の推進		○	是正策 達成できた。	
			次年度の主な取組 再資源化すべき建設資材は確実に処理できているので、継続していく。	
排水 量	水道水使用量	事務所	○	是正策 引き続き無駄遣いのないように呼び掛けていく。
				次年度の主な取組 使用量が増加した時には、掲示板に張り出しを行い注意喚起する。
		現場	○	是正策 散水・清掃の徹底にて、苦情なく達成出来た。
				次年度の主な取組 継続していく。
地域の清掃活動の実施 請負現場周辺の清掃活動の実施		○	是正策 会社付近の清掃活動・公共工事の完工時の清掃活動はできている。	
			次年度の主な取組 継続していく。	



8. 二酸化炭素排出量の削減 グラフ一覧



9. 活動状況

施工現場周辺の清掃活動	地域の清掃活動
<p>公共工事の現場完工時には、現場周辺の清掃活動を行っている。</p>	<p>月に1回以上は会社周辺の清掃活動を行っている。</p>
	

安全訓練	
<p>労働災害防止のための安全訓練を行っている。（重機の死角の確認・ヒヤリハットの確認） 社内講師による労働災害保険についての講習会も行っている。</p>	
	

熱中症対策	
<p>例年通り、現場への水分・塩分持参を欠かさず行っている。 フローズンエネルギーを常備し、気温の高い日には内勤職員が現場へ配達し対策を行っている。</p>	<p>WBGT値の計測を1日2回（10時と14時）行い、社内グループLINEにて配信し注意喚起を行っている。</p>
	

10. 環境関連法規等の順守状況の確認

当社が関係する環境関連法規の順守状況をチェックリストにより確認した結果、当社における主な環境関連法規への違反はありませんでした。
また、過去3年間においての違反の指摘と訴訟もありませんでした。

<主な環境関連法規>

- ・ 廃棄物処理法
- ・ 建設リサイクル法
- ・ 騒音・振動規制法
- ・ 水質汚濁防止法
- ・ 大気汚染防止法
- ・ オフロード法
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 土壌汚染対策法
- ・ グリーン購入法
- ・ 浄化槽法
- ・ 家電リサイクル法
- ・ 小型家電リサイクル法
- ・ 自動車リサイクル法
- ・ 道路交通法

11. 代表者による見直しと評価

●見直しについて

経営方針については継続して取り組んでいきます。

計画については変更の必要性は感じない為、今後も継続して取り組んでいきます。

●評価について

全体の二酸化炭素排出量は目標対比で98%であり、目標達成出来ています。

しかし、事務所の電力使用量・ガソリン使用量はわずかに目標達成とならず、また一般廃棄物・産業廃棄物の最終処分量も増加しました。受注した工事内容により削減できない場合もあるため、確実な分別処分等ができるようにしていきます。

エコアクション21の活動を始めてから、10年以上経過しましたが、継続して取り組みが出来ており社員の意識の向上へとつながっています。引き続き、活動内容の再確認・再検討を行いながら、環境に配慮した活動を継続していきます。



令和6年9月20日

大分県大分市大字津守60番地の1

三浦国土建設株式会社

代表取締役社長 三浦宏之